

新たな経済ビジョン策定に向けた

付加価値づくり ワーキンググループ

令和4年7月13日
福井県産業労働部

付加価値づくりワーキンググループ スケジュール

第1回 テーマ「イノベーションの促進」

日 程：6月1日（水）14時00分～16時00分（13:30～視察）

場 所：松文産業株式会社

<内容>

- ・ 繊維産業における生産現場の視察
- ・ 県内企業のイノベーション・高付加価値化に関する事例紹介・意見交換

今回

第2回 テーマ「新たな社会課題への対応」

日 程：7月13日（水）14時00分～15時45分（13:30～視察）

場 所：清川メッキ工業株式会社

<内容>

- ・ SDGs の取組みに関する視察
- ・ 県内企業のSDGs の活動や脱炭素経営に関する事例紹介・意見交換

第3回 テーマ「次世代モビリティ等に伴う構造変化への対応と新産業の創出」

日 程：7月29日（金）14時00分～16時00分（13:15～視察）

場 所：株式会社TOP

<内容>

- ・ 次世代モビリティに関連する製造現場の視察
- ・ 次世代モビリティ普及に伴う産業構造の変化や新産業創出に関する事例紹介・意見交換

本日のプログラム

13:30～ 現場見学 清川メッキ工業（株）
SDGsの取組みに関する視察

14:00～ 開会・事務局説明

14:05～ 事例紹介
「未来をつなぐ共有言語 SDGs」
清川メッキ工業（株）専務取締役 清川卓二 氏

14:25～ 事例紹介
「企業はどのように脱炭素経営に取り組むか」
北陸経済研究所 調査研究部 主任研究員 辻野秀信 氏

14:45～ 意見交換

15:45 閉会

事例紹介の内容

○事例紹介 清川メッキ工業（株） 専務取締役 清川 卓二 氏

- 清川メッキ工業は、人を大切にする“1ビジョン経営”を実践しながら、めっき技術を活かした製品開発や環境負荷の低減のほか、野菜工場における障害者・高齢者雇用、メッキ教室などの人財教育を通して、SDGsの17の全ての目標達成に向けて取り組んでいます。
- 清川メッキ工業における取り組みをご紹介いただくとともに、なぜSDGsに取り組む必要があるのか、県内企業がどのように取り組みを進めていくべきかについてご説明いただきます。

○事例紹介 北陸経済研究所 調査研究部 主任研究員 辻野 秀信 氏

- 脱炭素に対する関心が高まる中、脱炭素経営に関する取り組みは取引、投資等の面でメリットとなる一方、取り組まないことが企業経営のリスクとなる可能性があります。
- 北陸経済研究所が実施された調査結果をもとに、脱炭素経営に取り組むべき理由、北陸の地場産業における先進事例や今後の課題・展望等をご紹介いただきます。

○意見交換

- S D G s や脱炭素に関して企業に求められる役割・行動を、どのように認識し、対応していますか？ 取組みを進めていくための課題とは？
- S D G s や脱炭素に関連して、県内企業の技術を活かして成長が期待される産業分野とは？

例：電気自動車、蓄電池、エネルギー転換・効率化、微細化技術、生分解性素材
etc.